

大塚貢氏が和食給食でキレル子供を助けた物語

今、日本のキレル若者を育てている現状に、食事の見直しで果敢に挑み見事に解決しました。すばらしいです！



その学校はー

1992年
大塚貢校長先生は
1200人弱のマンモス校
ある中学校に赴任しました

Before



荒れた子供たちを、給食で
健全に変えていった先生の
お話があります

抑制がきかなくなったり、
イライラしたり、
キレルことに
食事が関係すること
ご存知ですか？



はじめまして、
僕、日本の主食ライスクン



いじめによる
中学生自殺
少年少女による
暴行殺人
少年を
逮捕しました



未成年者の起こす
事件が増えています

とても荒れていました

貧血で生徒がよく倒れる



朝食をとり子供たちも
パンやハム、ウィンナーでした
夜も肉類やカレーが多かったのです



朝食
ハム、ウィンナー、
シャムス、
甘味料や着色料が多い食べ物ばかり

夕食
カレーや焼き肉

生徒を調査した結果は
38%が朝食をとっていません

大塚校長先生は、
生徒の朝食の状況の
調査をはじめました




はあ？
窓ガラスは割れ放題
図書館の本は年間400冊以上紛失



廊下には夜中に走ったバイクの跡でドロドロ



これでは、
ミネラルもカルシウムも足りず
栄養不足になり、
自己規制がきかなくなったり
無気力になるはす・・・
そう思った大塚先生はー



反対もありましたが
試食会を行い、父兄に
説明をし、美味しい給食を
提供していきましました


メニュー
・イワシやサンマの
甘露煮
・マスの南蛮揚げ
・いわしののみりん干し
・焼きシシャモ
・鮭のハーブ焼き
・カワハギの磯部揚げ
着色料、添加物、化学調味料を使わない

発芽玄米ご飯
低農薬野菜
地産地消

その結果 (数か月が過ぎ)

大塚校長先生は、
よい食事を生徒に
食べさせた一心でした

パン給食中心から
米飯野菜魚中心給食へ変えます




パン食
↓
バランスのとれた
米飯と野菜、魚
中心給食へ

ほくの出番

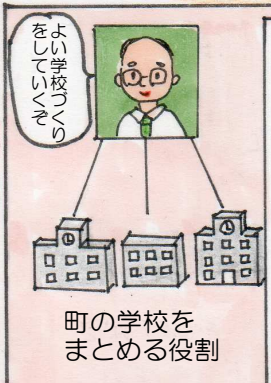
バイク盗難
夜中の騒音
公共施設
トイレの破壊

荒れていました




その頃、町は非行と犯罪で

1997年
大塚校長先生は、町の
教育長になりました




町の学校を
まとめる役割


大塚校長先生は、
そのほかに
先生の授業改善、
生徒と花づくり
などを行い、
学校を楽しんでいる
学校を楽しんでいる
花壇コンクールも入賞！



勉強楽しい
集中できる



いつの間にか、
誰もおらず、カラカラだった図書館は
生徒が廊下まであふれかかり、
本の紛失もなくなりました



大塚校長先生は、給食
食生活の改善を中心にして
多くの生徒の心身を
よみがえらせたのです



町全体の非行や犯罪率が
低下したのです

おだやか～
平和な生徒
平和な町
平和な社会



その結果

それそれぞれの学校に
栄養たっぷりの
米飯給食を
取り入れてみよう！



ちゃんとした和食、ご飯とみそ汁と野菜のおかず、そして魚料理、見直してみましよう！